

文章その七

越王句踐、復讐を誓い、嘗胆す

吳既^ニ赦^レ越^ヲ、越王句踐反^ル国^ニ。乃^チ苦^シ身^ヲ焦^{ガシ}思^フ、
 置^キ胆^ヲ於^ニ坐^ニ、坐臥^{スルニ}即^チ仰^グ胆^ヲ。飲^ニ食^モ亦^{ムル}嘗^ム胆^ヲ也。
 曰^ク、「女忘^ル会稽之恥^ト。」身自耕作^シ、夫人自織^リ、
 食不^レ加^ヘ肉^ヲ、衣不^レ重^ネ采^ヲ、折^{リテ}節^ヲ下^ニ賢人^ニ、厚遇^シ
 賓客^ヲ、振^{シテ}貧^{シキヲ}弔^ヒ死^セ、与^ニ百姓^ニ同^ニ其^ノ勞^ヲ。

● 越王句踐、吳に敗れて嘗胆す

吳既^ニ赦^シ越^ヲ、越王句踐反^ル国^ニ。

吳既に越を赦し、越王句踐国に反る。

「反」は「かえる」と読んで「帰る」という意味です。「吳はすでに越を赦し、越王句踐は帰国した」と訳します。

乃^チ苦^シ身^ヲ焦^{ガシ}思^フ、置^キ胆^ヲ於^ニ坐^ニ、坐臥^{スルニ}即^チ仰^グ胆^ヲ。

乃ち身を苦しめ思を焦がし、胆を坐に置き、坐臥するに即ち胆を仰ぐ。

「乃」は「すなわち」と読んで「そこで」という意味です。「焦」は「こがす」と読み、ここは「思を焦がし」と読んで「心をいため」という意味です。

「胆」は「きも」と読んで「肝臓」の意味です。この「胆」は鹿などの肝臓を乾燥させたものだと考えられます。極めて苦い薬のようなものです。「於」は置き字で読みませんが、「於坐」で「坐に」と場所を示しています。「坐臥」は「ざが」と読んで「起き伏し」という意味です。「即」は「すなわち」と読んで「ただちに・すぐに」という意味です。「仰」は「あおぐ」と読んで「(薬などを)飲む」という意味です。

「そこで自分の身を苦しめ心をいため、胆をそばに置き、起き伏しするときにはすぐに胆を飲んだ」

文章その五

関羽、劉備のもとへ向かう

及羽殺顔良、曹公知其必去、重加賞賜。
 羽尽封其所賜、拜書告辞、而奔先主於
 袁軍。左右欲追之、曹公曰、「彼各為其
 主。勿追也。」

◎ 曹操、関羽が去ることを知る

及羽殺顔良、曹公知其必去、重加賞賜。

「及羽殺顔良」は「及羽殺顔良」と返り点を付けて「羽の顔良を殺すに及び」と読みます。「及

（および）」は「——になって・——とき」という意味があります。「関羽が顔良を殺すと」という意味です。

「曹公知其必去」は「曹公知其必去」と返り点を付けて「曹公其の必ず去るを知り」と読みます。「其（その）」は「関羽」を指しています。「曹操は関羽が自分のもとを去るとわかり」という意味です。

「重加賞賜」は「重加賞賜」と返り点を付けて「重く賞賜を加う」と読みます。「手厚く賞賜を与えた」という意味です。送り仮名を付けると、

及羽殺顔良、曹公知其必去、重加賞賜。

となります。

羽尽封其所賜、拜書告辞、而奔先主於袁軍。

「羽尽封其所賜」の「尽」は動詞にあたる「封」の前にあるので「ことごとく」と副詞的に読みます。「封」は「ふうず」あるいは「とづ」と読んで「閉じる・封印する」という意味です。「所賜」は